

<h2 style="text-align: center;">玄海国定公園「いろは島」</h2> <p style="text-align: center;">～遠山の勇姿・島が織りなす癒しスポット～</p>	分野   自然
	地域   肥前
<p>伊万里湾の甲二峯瀬戸より福島大橋のあるタツノ瀬戸の間に、無数に点在する島々が造り出す絶景は、長崎県「九十九島」、仙台の「松島」を思わせるみごとな眺望である。「島山」「帆立」「小島」「松島」「弁天」「竹の子」など、多くの島を総称して「いろは島」と名付けられ、朝日に映える朝凧、夕日に輝らされ黄金の波を描く夕凧は、観光客を感動と安らぎで楽しませてくれる。</p> <p>また、その昔空海禅師（弘法大師）が、あまりの美観に筆を投げたとしても伝えられている。いろは48文字に因んでいろは島と名付けられたと言われてはいますが、実際の数は不明。島は長崎県松浦市に属している。</p> <p>台地の展望台からは、いろは島をとりまくリアス式海岸、遠山の雄姿は訪ねる人々に癒しとなり、一服の安らぎを与えてくれる。さらに伊万里湾、南蛮遺跡やジャガタラ文の哀史を秘めた平戸島、元寇史跡の鷹島や背振国見山系を眺望することができる。</p> <p>いろは島の南にあたる大浦地区は、「日本棚田百選」に選定され、島の景観とタイアップした広域に渡る観光スポットを醸し出している。湾内では、静かな潮の特性を活かし、牡蠣、真珠の養殖が盛んである。</p> <p>また国民宿舎付近では、「ふれあい自然塾」でシーカヤック体験ができ、特に夏場は子どもたちの天国となる。また近隣に木立に囲まれた丘があり、アスレチックの遊具が子どもたちを楽しませる「花と冒険の島」も、いろは島を訪れた家族にとって格好の遊び場となっている。</p>	◎地図・写真・統計資料など
	 <p style="text-align: right;">(唐津新聞社より)</p>  <p style="text-align: center;">いろは島展望所からの眺望 (『唐津探訪』より)</p>
◎エピソード・伝承・うんちく など	◎引用・参考文献（出典）
<p>唐津市国民宿舎いろは島 唐津市肥前町満越886-1      泉質は「ナトリウム炭酸水素塩」で無味無臭ですが、アルカリ泉特有のツルツルとした肌触りで別名「美人湯」とも呼ばれ、皮膚病や筋肉痛、冷え性、切り傷等に効果があると言われ親しまれています。（唐津市国民宿舎いろは島ホームページより）</p>	<p>◆よかところ探訪/ 唐津市役所肥前支所産業課          ◆肥前町観光マップ/ 唐津市肥前支所産業課          ◆唐津もの見遊山観光マップ/ 唐津観光協会</p> <p>◎もっと詳しく知りたい方は  <b>唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</b></p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ：  <a href="http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html">http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</a></p>